

## 全国ニユーススポーツセミナー2002 in かながわ 開催される

2月22日(土)〜23日(日)江ノ島女性センターにおいて、標記セミナーが開催されました。当日は日本体育協会事務局長の岡崎助一氏をお招きし、「我が国のスポーツの動向」としてご講演を頂きました。また、「ニユーススポーツの楽しさを届けよう!」のスローガンのもと、スポーツチャンバラ・ブーメラン・3B体操の実技講習会があり、多くの方が資格を取得されました。

(関連記事4面)

### 講演「我が国のスポーツの動向について」

講師 財日本体育協会事務局長 岡崎助一氏

#### 講師紹介

岡崎氏は、和歌山県の保健体育課長、文部省の競技スポーツ課長などを経て、現在、財日本体育協会事務局長をされている。

#### 講演趣旨

#### 1 国民のスポーツ活動の状況

国民のスポーツ活動の状況を3年に一回行われている国の調査資料から見てみると、調査の始まった昭和57年の「一週間に一回以上スポーツを実施している者」が27・9%となっている。その後、実践者の向上は見られなかった。しかし、平成6年が約30%、同9年が34・7%、同12年が37・2%と向上が見られ、これまでの各種施策の成果が実現しつつあることが伺える。しかし、10年後には、50%程度になることを目標に官民一体となって取り組む必要がある。また、スポーツを「する」以外に、

観戦したり、テレビを見て楽しむという「みる」スポーツに関わる国民が9割を超えている。さらに、大会の運営やスポーツクラブをサポートするという「支える」ことで自己実現を図るといふ人々も増大してきている。

#### 2 「生涯スポーツ社会」の実現を目指すスポーツ政策

21世紀の国民のスポーツ振興をめぐる政策課題は、「生涯スポーツ社会」の実現である。「生涯スポーツ社会」とは、国民の誰もが、スポーツを生活における「楽しみ文化」として、主体的にスポーツへの多様な関わりをもち、実践している状況ととらえられる。つまり、スポーツ文化を豊かに享受することのできる環境の醸成が重要となり、資質の高い指導者の養成、スポーツクラブの育成などが具体的施策として求められる。

#### 3 スポーツ文化について

「生涯スポーツ社会」の実現をめぐって、国民の一人ひとりがスポーツ文化を豊かに享受することが重要な課題となっている。しかし、スポーツ文化論はなかなか理解しづらいものとなっている。そこで、スポーツ指導者として認識しておく必要のあるスポーツ文化の内容については次のように整理できる。

(2面につづく)



(1) スポーツ観

スポーツが好きだから実施するという目的な考え方と健康のため、人付き合いのためなどに実施するという手段的な考え方があ

(2) スポーツ規範

競技ルール、参加資格などのような取り決めごとと、スポーツマンシップ(マナー、エチケット)のように人間としての言動のあり方がある。

(3) スポーツ技術

各スポーツ競技はそれぞれ固有の技術体系が構成されている。

(4) スポーツ事物

スポーツ用品・用具や施設、ユニホーム等の各種ウェアなどを内容とする。

これまで、スポーツ指導においては、スポーツ技術に力点が置かれていたが、今後は4つの内容を念頭においてスポーツ文化の指導に努力する必要がある。



▲飯塚氏



▼行田氏



▲左から 相川・一人おいて・門松・小谷・小林・一人おいて 牧野の各氏

14年度

レクリエーション活動普及振興表彰

1月25日(土)に開催されました県レクリエーション協会の新春のつどいにおいて次の方々が表彰されました。  
おめでとうございました。

(敬称略)

相川 健 横浜市レク協会 横浜市レク副会長、専務理事 県レク副会長

門松 茂雄 横須賀市レク協会 横須賀市レク副会長、県・フォークダンス理事長

小林 正和 藤沢市レク協会 藤沢市レク副会長、県レク理事

小谷 徳江 相模原市レク協会 相模原市レク副会長

飯塚弥重子 秦野市レク協会 秦野市レク協会会長

牧野 幸江 民踊連盟 民踊連盟副会長 市民踊連盟会長・県レク理事

行田 恭子 県・レク卓球 県レク理事 日レク卓球専務理事

新春のつどい

1月25日(土)横浜国際ホテルにおいて新春のつどいが開催されました。

第一部は、(財)日本レクリエーション協会を初め、神奈川県教育庁 教育部スポーツ課、神奈川県体育協会等から大勢のご来賓をお迎えして、式典および功労者表彰式等が行われました。

第二部は、がらりと様相が一転、

各種目協会および地域協会の代表が出席、ためきさんチームとキツネさんチームとに別れ、踊りやマジック、そしてカラオケと日頃の隠し芸を競い合い、笑いの渦に会場は大いに盛り上がりました。

そして恒例の大抽選会、緊張しながら待った当たりクジ!。歓声と悲鳴が会場一杯に広がりました。



受講者  
募集中!高年齢者施設職員・地域福祉ボランティアのための  
フォロワーアツプ・セミナー

平成十五年度

主催】NPO 法人神奈川県レクリエーション協会  
【後援】財団法人日本レクリエーション協会日時 平成15年4月20日(日) 十時～十五時  
場所 厚木YMCA・本館 小田急線「本厚木駅」より徒歩5分  
厚木市中町4-16-19 (電話)046-223-1441対象者 福祉レクリエーション関係者、高齢者施設職員、  
地域福祉ボランティアの方、レクリエーション活動に関心のある方

内容 ①講義「高齢者の転倒防止」などについて

【講師】小野 晃 氏

東海大学大学院体育学研究科修士課程修了し、YMCA福祉スポーツ研究所、  
東京都立大学非常勤講師として現在に至る。

②実技「転倒予防トレーニング」

【講師】越智 和枝 氏 YMCA 健康福祉専門学校講師

定員 50名(定員になり次第締め切らせていただきます)

参加費 一千元

申込み NPO法人神奈川県レクリエーション協会まで

電話 045-320-2430 FAX 045-320-0640

持ち物 筆記用具・運動しやすい服装

※レクリエーション・コーディネーターの方の研修ポイント(E.P.)の対象です。

## 第二線からの報告

グループレクリエーション・ワーカー  
レクリエーション・インストラクター

南足柄市 溝田 岳

私はグループレクリエーション・ワーカーの資格を取得してから、地域の知的障害者のボランティア団体に、コーディネーターのお手伝いを

しておりましたが、それ以外はレク指導者としての経験はありません。それというの私も私はどうも赤面症のようで、多くの人に注目を浴びると舞い上がってしまうので、「ああ自分はこの仕事に向いていないのかな」と思い、社会福祉士と介護支援専門員の資格をとり、現在はケアマネージャーとして、高齢者の方の在宅生活を支える仕事をしておりま

す。この仕事は地域の社会資源を活用する力量が問われる仕事で、多くの関係機関との連携を図るために良好な人間関係を作る必要があります。その基本的な部分に、グループレクリエーション・ワーカーの資格を取得した経験が、多少なりとも活かされているのでは?と今振り返るとそう感じています。それまでの自分

て、参加した方が自然と楽しめるようにまとめるリーダーが、良きレクリエーション・ワーカーだという想いがありました。そのような狭義のレクワーカーだけでなく、日常の色々な場面で、コミュニケーションを作る人間関係の形成に必要なことだと感じるようになっていきます。これからも高齢者が住みやすい社会を作るために一役買いたいと思います。

## 知っていると得する話

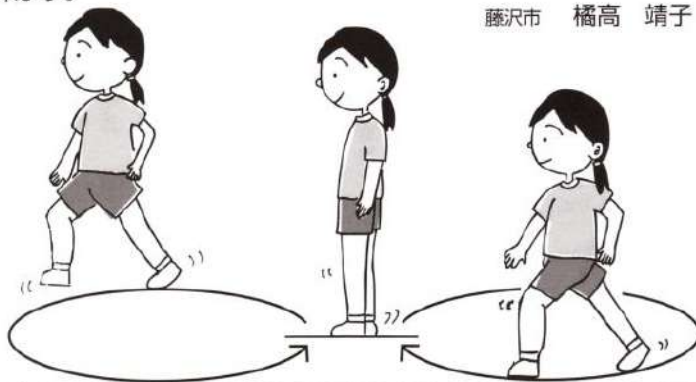
## ■ 転倒予防に!

日常生活で使わない筋肉を動かすことで神経の認識・命令・行動系統が目覚めます。

フォークダンスのドーシーダーの要領で顔は同一方向を向いたまま、前方が後方から○が直径1メートル位の「8の字」を足跡で描きます。バランス感覚の良好な人は簡単に出来ます。が、年齢が高くなると足もとが不安定になり易いので、ゆっくり(慣れたら早く動く)でも「8の字」運動を行っているといざという時四方八方に脚が動き効果的です。

身体と脚が慣れてくれば工夫してゲームとして楽しく動くことが出来ます。

藤沢市 橋高 靖子



協会活動報告 平成14年12月以降分

理事会

- 第3回 平成15年3月8日
- 主要会務報告
- 平成15年度事業計画(案)について
- その他

委員長会議

- 第3回 平成14年12月24日
- 各委員会報告
- 各委員会協議検討実施計画について
- 平成15年度事業計画(案)について
- 第4回 平成15年2月21日
- 各委員会報告・協議検討実施計画について
- 平成15年度事業計画・予算案について
- 平成15年事業等執行体制について

専門委員会活動報告

生涯スポーツ推進委員会

- 全国ニューススポーツセミナー
- 平成15年2月22、23日 江の島 県立かながわ女性センター

組織化推進委員会

- 第二回城山町ふれあいレク大会
- 平成15年3月23日 町立川尻小学校

指導者養成委員会

- 平成15年度レクスクール開講準備
- チャレンジ・ザ・ゲームについて検討

情報化推進委員会

- 平成15年2月8日
- ホームページ掲載内容の検討と更新

広報委員会

- 51号の年度内発行に向けて編集

生涯スポーツ指導者講習会(実技報告)

- 日時・平成15年2月22日～23日(土・日)
- 会場・県立かながわ女性センター(江ノ島)

スポーツチャンバラ

講師：国際スポーツチャンバラ協会事業部長 田村勝家 氏

チャンバラ用の太刀は、中に空気が入っており、安全性の高いスポーツであるという説明の後、模範演技、基本動作の練習を行い、小太刀と長剣、それぞれのトーナメント制による試合でチャンピオンが決定した。

ブーメラン

講師：日本ブーメラン協会事務局長 先光吉伸 氏

ブーメランの作り方に始まった。手元に戻ってくるために一番大切なことは、羽根の角度であること、そのため一人一人を丁寧に回られ、それぞれのブーメランをチェックされていた。ブーメランキャッチ選手権が行われ、最後に講師が二つのブーメランを同時に飛ばし、時間差でキャッチする妙技を見せてくれた。



3B体操

講師：日本3B体操協会神奈川支部公認指導者

3Bとは、ボール、ベル、ベルターの頭文字を取ったもので、用具を使用し音楽に合わせて、集団で行う体操である。用具を使用することにより、無理なく身体を動かせるため、年齢に関係なく楽しむことができるスポーツである。体験した方々も、音楽にのって気持ち良く体操ができた。

私の推薦スポット



「城山かたくりの里」 (カタクリ)

見頃：3月中旬頃～4月上旬  
昭和50年頃から、所有者がカタクリの自生地保護を始め、増植に努力を重ねたもので、今ではなだらかな山の斜面一帯に、薄紫色の約30万株のカタクリの花が咲く名所です。

是非、訪れてみてください。

推薦者：相模原市 小林 尚子

〔所在地〕城山町川尻

〔交通〕JR横浜線・JR相模線・京王線 橋本駅から三ヶ木行きバス15分「城山役場入口」下車徒歩20分  
また、最盛期には「かたくりの里」へ直通の臨時バスも運行されます。

〔入園料〕300円  
ただし身体障害者および付き添いの方は無料です。

- 花情報ハローダイヤル ☎03-5777-8600
- 花守人：小林一章 ☎042-782-4246





## 神奈川県立福祉大学開講にあたって

副学長（予定者） 室 谷 千 英

「混迷の二十世紀を経て、新しい世紀を迎えました。そして今、私たちは、ここ神奈川の地に新しい大学を作ることにしました。科学技術の進展や社会制度の充実にとめない、人々の生活は飛躍的に向上しています。しかしどんな時が移ろうとも、私たちは、温もりのある人と人との支え合いを求めてやまない存在です。そして最近の技術や知識を使いこなすのも、やはり、「ひと」にはかなりません。私たちは大学を創ります。人と人のかかわりを「いのち」と大学を。」

この文章は、神奈川県立保健福祉大学の初代学長（予定者）阿部志郎先生の大学建学にあたってのメッセージです。二十一世紀を迎え、少子高齢化社会がますます進行する中で、高齢者の方々をはじめ、すべての人が地域の中で安心して自分らしく生きていける社会を創っていかねばなりません。特に保健医療福祉ニーズが多様化し、地域におけるきめ細かな福祉サービスを提供するためには、保健医療福祉に関する専門知識を有するとともに、深い洞察力や鋭い感性を備え、「ひと」としての尊厳を大切にしたり、ヒューマン・サービスを実践できる人材を養成することが大切であると考え、「県立保健福祉大学」を設置することとしたものです。

平成九年にスタートした県の総合計画である「かながわ新総合計画21」に人材養成の新たな整備を位置づけ、六年の準備期間を経て、いよいよ平成十五年四月にオープンすることとなりました。

大学の基本理念として、①保健・医療・福祉の連携と総合化、②生涯にわたる継続教育の重視、③地域社会への貢献を掲げて出発いたします。又この大学は、一学部（保健福祉学部）四学科（看護・栄養・社会福祉・リハビリテーション学科）で構成しており、各々の学科では、国家試験の受験資格がとれるよう、カリキュラムを編成したところです。

しかし人材育成は、大学の中だけでできるものではありません。病院や社会福祉施設、あるいは地域で教員や学生たちが実践的に学ばせていただくことも必要です。

ぜひ県民の皆様には、この新しい大学を温かく見守っていただきたいと思えます。いつの日か、県立保健福祉大学で学んだ学生が、神奈川県でそして全国で大きく活躍してくれることを心から願っているところです。

### プロフィール

昭和12年生まれ。明治学院大学卒。同36年神奈川県に採用。婦人企画室長、福祉政策課長、自治総合研究センター所長、渉外部長、県民部長を経て、平成7年から副知事。同13年から神奈川県顧問。

## 横須賀市レクリエーション協会

理事長 岸 正晴

当協会の活動は、戦後まもなくアメリカ人牧師から、フォークダンスのレコードの提供と指導を受け、市内各地で普及を行ったのが最初です。そして各種レク団体が協議会組織を作ったのが1976年でした。

現在はフォークダンス連合会、ユースホステル協会、家庭婦人卓球協会、レク指導者研究会、バウンドテニス協会、インディアカ協会、ベタンク協会、ターゲットボードゴルフ協会の8協会が明るく健康で楽しいレク活動のため活動を続けています。

現在はIT時代、レク情報はインターネットからも提供。自力でホームページを運営できるスタッフがいることが当協会の特徴です。

## 平塚市レクリエーション連盟

理事長 藤 田 早苗

私達の組織は、家庭婦人卓球連盟、ママさんバレーボール協会、社交ダンス、フォークダンス、レク民踊、あるく会の六団体が所属し、個々に充実した活動を行っております。

二万人からの参加者で賑わう「盆踊り大会」でのレク民踊の指導力は素晴らしいものと自負しております。あるく会は毎月実施し市民参加の大集団、大移動ですが、安全を優先し好評裡に活動しております。他市とは取りくみ等に相違の感がありますが、これからも他市に学び市民に愛されるレク連盟をめざしたいと思います。

## （地域・種目）団体

# ネットワーク



### レクリエーション卓球連盟

事務局担当 平 田 秋子

私どもの連盟は平成15年で創立30周年を迎えます。創立以来「いつでも・どこでも・誰とでも」をモットーに平成10年にそれまでの家庭婦人卓球連盟の名称を、レクリエーション卓球連盟と改称して以来、女性だけでなく男性の会員もそして今年からは、子ども達の育成にも目を向ける事となりました。

活動の中心となられる健康な身体と強い精神力を持つ人間になってもらうため、卓球に親しんで欲しいと願っています。



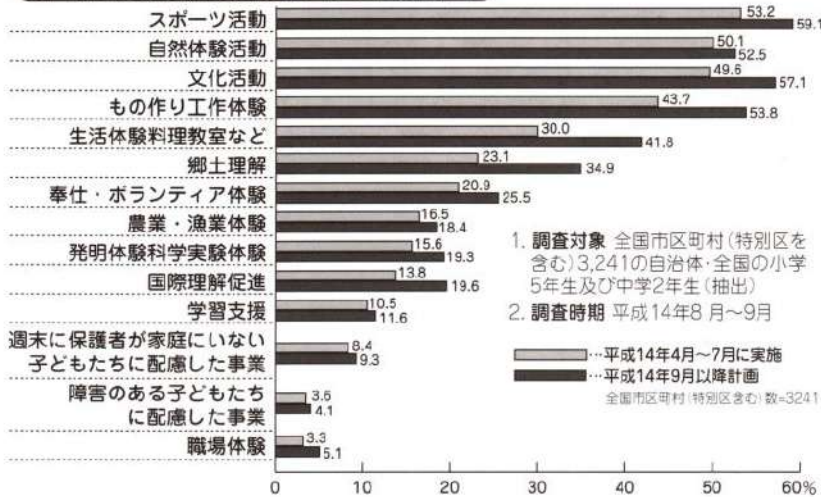
### サイクリング協会

副会長 山 本 貞夫

私達の協会はレク協会の設立時から加盟した微力ながら伝統有る団体と自負しています。レク協会の当時の役員として関わっていたメンバーも数十年と現役で協会の仕事をしたり走り続けています。文字通りの生涯スポーツと云えましょう。

一般的には誰でも走れる一日の走行は五十キロ程ですが八十才を越えて百キロ以上の走るメンバーもいます。サイクリングは競技スポーツで有りませんが、サイクリングは競技スポーツではありませんからスーパースターは居ません。誰でもが楽しめる生涯スポーツとしては是からも普及の努力と会員の指針として常に活性的に進めて行きます。

①土曜日に実施した(計画中)事業内容



1. 調査対象 全国市区町村(特別区を含む)3,241の自治体・全国の小学5年生及び中学2年生(抽出)
2. 調査時期 平成14年8月~9月

●平成14年4月~7月に実施  
●平成14年9月以降計画  
全国市区町村(特別区含む)数=3241

②学校開放(子ども・家庭対象)状況

	学校開放実施率 (子ども・家庭対象)	施設別実施率			
		教室	体育施設	図書室	校庭
小学校	78.6%	17.5%	68.2%	10.6%	67.1%
中学校	55.4%	11.3%	47.8%	6.0%	43.3%

③学校外における体験活動参加状況

	体験活動に参加したことがある	体験活動に参加したことがない
小学5年生	57.3%	42.7%
中学2年生	24.5%	75.5%

なぜ参加しなかったか

体験活動に関心がない 参加したいものがない	時間的余裕がない
57.2%	41.5%
64.9%	38.5%

●その他、参加しなかった理由として  
小学生「知らなかった」「一緒に行く人がいない」など  
中学生「部活があったから」「知らなかった」など

④参加した活動の種類

(複数回答可のため、合計は100%を超える)

入手方法	小学5年生	中学2年生
野球やサッカーなどのスポーツ活動	45.0%	32.0%
山や川、公園などでの自然観察や体験活動	19.3%	19.2%
地域で行われるボランティア活動	17.0%	27.6%
おもちゃづくりなどの工作体験活動	15.6%	8.3%
美術館、博物館での見学や体験活動	11.1%	9.4%
茶道・合唱・PC・囲碁・将棋などの文化活動	10.8%	8.8%
地域の伝統文化や行事を学ぶ体験活動	8.4%	7.6%
料理や衣服作りなど生活に関する体験活動	7.6%	5.6%
発明体験や実験などの科学体験活動	6.9%	5.0%
算数(数学)、国語などの学習講座	6.5%	5.0%
外国語会話や外国の人との交流活動	4.1%	3.4%
その他の活動	20.8%	25.8%

⑤活動情報の入手方法

(複数回答可のため、合計は100%を超える)

入手方法	小学5年生	中学2年生
家族から	39.6%	26.7%
学校の掲示板や先生から	34.8%	42.5%
友達から	31.0%	25.2%
市区町村広報誌や子どもセンターなどから	10.1%	10.2%
新聞・雑誌・テレビ・ラジオから	6.2%	5.0%
インターネットから	1.8%	1.5%
その他	10.1%	10.4%

⑥参加者の状況

(複数回答可のため、合計は100%を超える)

誰と参加した	小学5年生	中学2年生
友達といっしょに	63.9%	70.1%
家族といっしょに	38.0%	21.2%
自分一人で	14.5%	10.1%
その他の人と いっしょに	12.8%	12.3%



文部科学省ホームページより引用

編集後記

五十号という一区切りからの新たな第一歩として取り組んだ本号は年度末に間に合わすことが命題でした。原稿をお願いした皆様には催促したり何かとご迷惑をおかけしたのかもしれませんが、期限との戦いでしたのでご理解下さい。  
ありがとうございました。(小林)

例年事務局の新年は、新春のつどいが終了すると年度事業は一段落してよいよ新年に向けての準備を開始します。事務局の整理、整頓を行うのですが、今年度は、年度一杯までニュースポーツセミナー・福祉フォーローアップ・城山町ふれあいレク大会・総会とまだまだ盛り沢山の事業で、問い合わせやら、資料作りに追われてうれしい悲鳴で頑張っています。忙しいけれど皆さんとの交流が増え、ますます活発に、躍進する県レクに成るため頑張っていますのでこれからも沢山の方々の参加をお待ちしております。尚事務局は日曜、月曜日がお休みですのでよろしくお願いたします。(桑島)

